

**第一回 クライアント管理勉強会 議事録**

日時: 2011/9/13(火)15:00~18:00

会場: クオリティ(株) 本社 6F 会議室

テーマ: ここだけは押さえたいクライアント管理~熟練者が語る企業で行うIT資産管理術~

講演 クライアント管理勉強会 座長

(司会・進行) 国際興業株式会社 総務部 情報システム課 仲谷 美乃里 氏

クライアント管理勉強会 副座長

株式会社シーズ・スリー 情報システムサービスセンター 運用管理ルーム

マネージャー 岡本 宏明 氏

当研究会の運営方針により、個人/会社名を特定できる発言、および発表者から公開の許可を得られなかった内容は 議事録より削除されています。あらかじめご了承ください。

**【第一部】座長及び副座長よりご講演**

出席者の中で、社内システムを一人で切り盛りしている方が3名程

人手が足りないと感じている方は10名程

**【第二部】**

**■ソフトウェアライセンス管理について**

＜A社＞

・全国に拠点があるのだが、2つの会社が合併しました。そのため、デザイナーが多い部署やスポーツ等PCのスキルが低い状況です。勝手にPCを買ってしまったっており、しっかりと管理ができていません。

また、Officeのライセンス管理ができていません。ライセンスキーと、実際入っているPCが紐付いてません。これを契約情報とどう紐付けていくかが問題です。

→＜B社＞

Officeのライセンス形態がバラバラで管理しきれなくなっています。この為、当社ではプリインストール版を薦めています。こうすることにより、パッケージさえ保管しておけば、他の管理が必要でないというメリットがあります。PCが壊れたときには困りますが。

→＜副座長＞

Officeだと、プリインストール版がありますが、ライセンス数が多くなると、別のライセンス体系に移したほうが楽になる場合があります。

Adobeから調査の際にはQNDで収集した情報をQIVの台帳に出力して、そのままメーカーに提示しています。しかし、AdobeのライセンスもCS版と単体版の管理は難しいです。

→＜A社＞

パッケージとライセンスでどちらの方がいいのかわかっています。

→＜C社＞

Adobeのパッケージは、アクティベーションが必要な為、それ以外のものを管理すれば全体が管理できるので、良いかもしれません。シリアルまでは求められていないみたいなので、それで大丈夫だと思います。

**■持ち込みPC対策について**

＜A社＞

個人パソコンをネットワークにつないでいたりするので、これの排除も問題点です。

→<C社>

L2 ブロッカー利用しています。Mac アドレスベースで管理するので、クラス C 以下であれば管理ができます。デフォルトブロックにしておけば、管理ができます。

QND での Mac アドレス情報を流し込み、ホワイトリストにして管理をしているので、あまり問題はありませんでした。

徹底に関しては、やはりルールを作るしかないと思います。

→<B社>

PC を持ち込みたいのなら、会社に寄贈するというルールにしました。それが嫌であれば、持ち帰ってください。何かあった際には責任が取れるのですか？という話をしています。

→<D社>

当社では、矛先を変えて、AD を構築するので、社内で PC を使うのであれば、管理ソフトが入るので良いですか？という方法を取りました。結果、皆さん持ち込まなくなりました。

→<E社>なぜ L2 ブロッカーを選んだのですか？

→<C社>管理しやすかったからです。

<独立行政法人 F社>

持込 PC の禁止はしていませんが、各ユニット長の承認で運用を行っています。事務系 1600 名の PC 管理を QAW で行っています。

管理対象は全体であるべきでしょうか？

→<全体>一般企業では、全台数を管理しているのが通常です。

#### ■資産管理全般について

<G社>

1000 台程、グループ会社全体管理しています。現在たな卸し情報を手動でファイルサーバに上げてもらいそれを Excel で管理しています。今後、ツールを導入していこうと思っています。ユーザ変更や、故障管理、等を Excel で書いていますが、手作業なので、どうしてもずれが生じてしまい、それを管理するのが大変です。

→<D社>

QND は入っていますが、場所が分かりづらいところがあります。任意項目で入力してもらっていますが、入力してくれない人もいますので、実際に場所の管理工数は掛かっているのが現状です。ですので、どうしても 100% 自動にはならないと思います。

→<G社>

システム部門で全部管理しているのですが、工場内で個別にメンテナンスしてしまったような PC の管理等が大変です。どこまで管理するのが正解なのでしょうか。

→<副座長>

QND で IP アドレスのフィルタを作成して、自動更新して行っています。翌日には自動的に場所情報が反映されています。

<H社>

20 名ぐらいの会社で、システム部門も 1 名のみ、ネットワークダウン時の対応が大変でした。

PC のセットアップ等できる方が社内にはいないので、楽に管理できる方法を模索しています。サーバのメンテナン

スも大変苦しい状況下であり、管理をクラウドにしておこうかと思っています。

→<副座長>

クラウドは、コストが意外に掛かるのが現状ですので、注意が必要です。

→<I社>

停電対応等で、データセンターは1ラック年間200万程掛かるので、止められないものはクラウドに出しています。その他、落としてもいいものは社内でプライベートクラウドにしています。

<J社>

Macを含め、370台程管理しており、WindowsはQNDで管理しています。

拠点別にコンピュータ名を別にしてしているので、そこで場所もある程度分かるようにしています。固定IPでしたが、最近ノートPCが増えてきており、移動する事が増えたため、DHCPにしています。しかし、そうすると、場所管理ができなくなってきました。また、QNDの要望ですが、今はコンピュータ名がキーになっていますが、IPアドレスをキーにして管理できればうれしいです。

→<K社>

WINSの機能を使用すれば、ある程度できると思います。

→<L社>

DHCPサーバでログを取れる仕組みにしていますので、それで管理をしています。

→<副座長>

IPScanを使っています。

→<クオリティ>

QNDのNetSkkiperで追いかけることは可能です。

<M社>

5年ぐらいQNDを使っています。1年毎にパソコンのパスワードをQNDで変更していますが、パスワードのシールを貼ってしまう人がいる。皆さんはどうされていますか。

→<E社>

無線LANを使っていますが、1万円のタブレットを使って、生体認証を使おうと思っています。

→<N社>

Pマークを取得するのがポイントでしたので、パスワードのシールを貼らないというものもあり、指摘をしています。やはり、継続的に社内教育が必要だと思います。「ISMSを取る」と言ったとたん、社内の認識が結構変わりました。

<N社>

ISMSをやる為に、どこまで管理するかが問題ですね。

→<副座長>

コンサルタントを入れた方がいいと思います。その年その年で落とすところを決める必要があると思います。

<N社>

スマートフォンに関しては、皆さんどう管理されていますか。

→<副座長> 今後、必ず管理が必要になってくるものですね。

<O 社>

PC2000 台、70拠点にあり、取引先から情報提示を求められることがあるので、ハード・ソフトウェア情報を最新にしたいのだが、10%程度、インベントリ収集できないケースがあります(QAW ユーザ)。

Windows7 に移行する計画があるが、本当にできるかどうかが不安です。

→<D 社>

Windows7 で 64Bit 版を入れて失敗しました。公開されていないエラーが多いと感じています。

→<N 社>

取引先との関係もあり、どうしても入れる必要があります。実際はどのような感じなのでしょう？

→<D 社>

致命的なものがあったりしますので、x32 をお勧めします。

<D 社>

トライアル版のライセンス管理はどうしたらよいのでしょうか。

→<クオリティ>

是非 QAW に付属しているライセンスガードを使い、割り当てをして管理する方法をお勧めします。

<独立行政法人 P 社>

ライセンス管理は非常に大変です。QAW のライセンスガード機能で管理を始めていますが、他にライセンスガードを使っている人はいらっしゃいますでしょうか。また、その場合、どのように管理をしているのでしょうか。

→<全員>

ライセンスガード機能については、みなさんこれからというところ。

→<副座長>

当社の場合は面倒ですが、購入する際には申請を必ずしてもらいます。

QND で配信できるものしか購入していません。ユーザ側で勝手に購入、インストールしてしまえる状況であれば、当然管理も大変になると思います。ライセンス管理の工数を減らす為には、運用ルールをしっかりとすることも重要だと思います。